



## PA-GE ケーブルの接続

---

PA-GE ポート アダプタを使用できるようにするには、ポート アダプタ上の GBIC (ギガビット インターフェイス コンバータ) にケーブルを接続する必要があります。

出荷時の PA-GE には、注文した PA-GE モデル (1000BASE-SX、1000BASE-LX、1000BASE-LH、または 1000BASE-ZX) に応じた GBIC があらかじめ搭載されています。

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- [PA-GE へのケーブル接続 \(p.4-2\)](#)
- [PA-GE における GBIC の交換 \(p.4-5\)](#)



(注)

GBIC 未搭載の PA-GE に GBIC を取り付ける場合、または何らかの理由で GBIC を交換する場合は、「[PA-GE における GBIC の交換](#)」(p.4-5) の手順を参照してください。

GBIC が搭載されている場合は、次の「[PA-GE へのケーブル接続](#)」に進んでください。

---

## PA-GE へのケーブル接続

ここでは、次の2種類のケーブル接続方法について説明します。

- [GBIC へのマルチモードおよびシングルモード光ファイバケーブルの取り付け \(p.4-2\)](#)

この方法でケーブル接続を行うのは、次の場合です。

- GBIC-SX 搭載の PA-GE へのケーブル接続
- GBIC-LX または GBIC-LH 搭載の PA-GE に、50/125 または 62.5/125 ミクロンのマルチモード光ファイバケーブルを接続し、伝送距離が 984.25 フィート (300 m) 未満の場合
- GBIC-ZX 搭載の PA-GE へのケーブル接続  
(マルチモードおよびシングルモード光ファイバケーブルに関する詳細は、[表 1-5](#) および「[光ファイバケーブル](#)」[\[p.1-12\]](#)を参照)

- [GBIC-LX または GBIC-LH へのモード調整パッチコードの取り付け \(p.4-3\)](#)

GBIC-LX または GBIC-LH 搭載の PA-GE に、50/125 または 62.5/125 ミクロンのマルチモード光ファイバケーブルを接続し、伝送距離が 984.25 フィート (300 m) を超える場合は、このケーブル接続方法を使用してください (モード調整パッチコードの詳細は、「[マルチモードの GBIC-LX および GBIC-LH で使用するモード調整パッチコード](#)」[\[p.1-13\]](#)を参照してください)。



### 注意

伝送障害を防ぐため、9/125 または 10/125 ミクロンのシングルモード光ファイバを使用する場合は、いかなる環境においても、モード調整パッチコードを使用しないでください。

## GBIC へのマルチモードおよびシングルモード光ファイバケーブルの取り付け

ここでは、次の場合のケーブル接続手順を説明します。

- GBIC-SX に、50/125 または 62.5/125 ミクロンのマルチモード光ファイバケーブルを接続する場合
- GBIC-LX または GBIC-LH に、50/125 または 62.5/125 ミクロンのマルチモード光ファイバケーブルを接続し、最大伝送距離が 984.25 フィート (300 m) 未満の場合
- GBIC-LX に、10/125 ミクロンのシングルモード光ファイバケーブルを接続する場合
- GBIC-LH に、10/125 ミクロンのシングルモード光ファイバケーブルを接続する場合
- GBIC-ZX に、10/125 ミクロンのシングルモード光ファイバケーブルを接続する場合



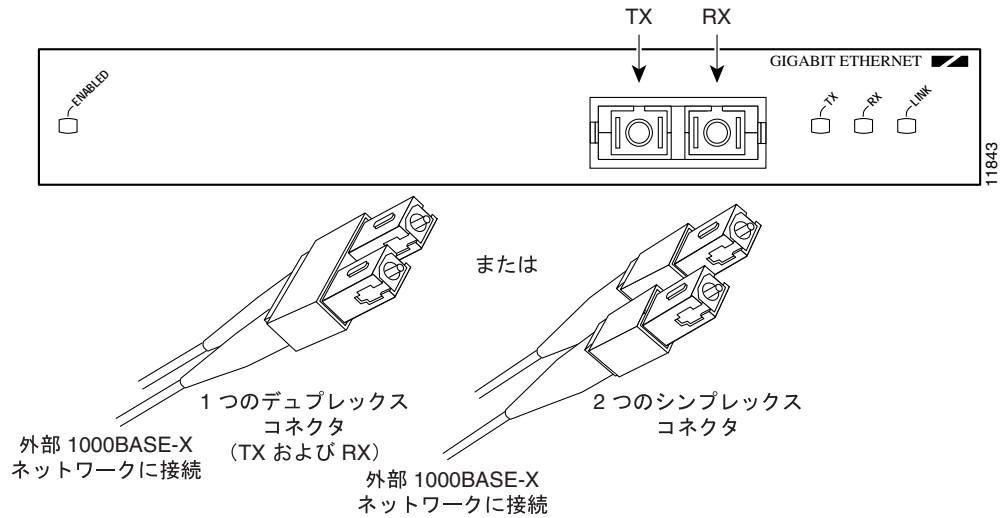
### (注)

光ファイバケーブルは、別途必要です (使用するケーブルについては、[表 1-5](#) および「[光ファイバケーブル](#)」[\[p.1-12\]](#)を参照してください)。

GBIC にマルチモードまたはシングルモードの光ファイバケーブルを取り付ける手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** 適切な光ファイバケーブルを、GBIC 上の SC タイプ レセプタクルに直接接続します ([図 4-1](#) を参照)。デュプレックス SC タイプ コネクタが 1 つ、またはシンプレックス SC タイプ コネクタが 2 つ付いているケーブルを使用してください。

図 4-1 GBIC へのマルチモード/シングルモード光ファイバケーブルの取り付け — 水平方向

**注意**

伝送障害を防ぐため、光ファイバケーブルの一端の TX ポートおよび RX ポートを、それぞれもう一端の RX ポートおよび TX ポートに取り付けてください。つまり、TX は RX に、RX は TX に接続します。

**警告**

接続されていない光ファイバケーブルやコネクタからは目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光を直視したり、光学機器を使用して直接見たりしないでください。

**警告**

クラス 1 レーザー製品です。

**ステップ 2** 光ファイバケーブルのネットワーク側を、建物の配線設備の 1000BASE-X 装置に取り付けます。

これで、GBIC に光ファイバケーブルを取り付ける手順は完了です。

## GBIC-LX または GBIC-LH へのモード調整パッチ コードの取り付け

ここでは、GBIC-LX または GBIC-LH にモード調整パッチ コードを接続する手順について説明します。50/125 または 62.5/125 ミクロンのマルチモード光ファイバを使用し、伝送距離が 984.25 フィート (300 m) を超える場合は、モード調整パッチ コードを使用する必要があります。シスコのモード調整パッチ コードの製品番号は CAB-GELX-625= です (モード調整パッチ コードの詳細は、「マルチモードの GBIC-LX および GBIC-LH で使用するモード調整パッチ コード」 [p.1-13] を参照してください)。

**(注)**

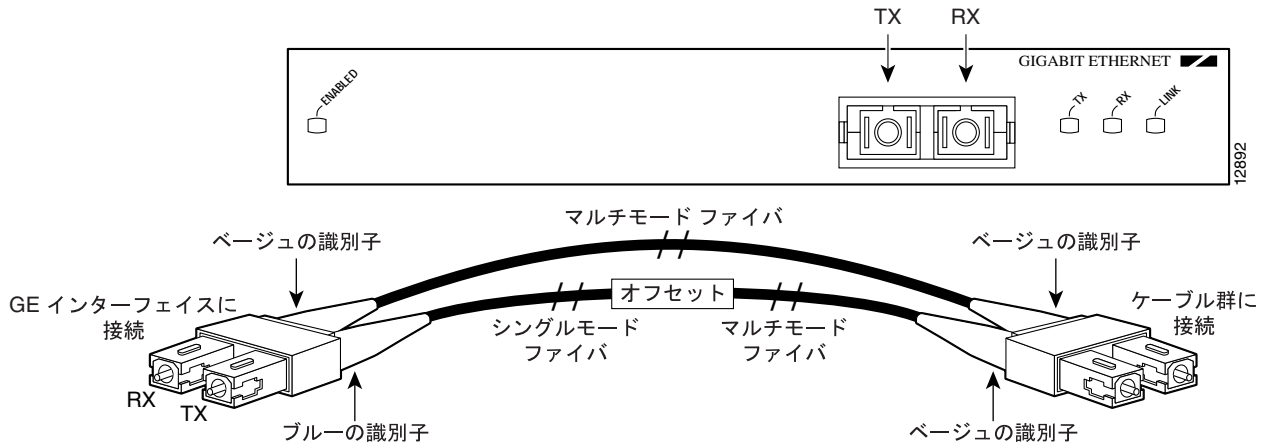
GBIC-LX または GBIC-LH にシングル モード光ファイバを接続する場合には、モード調整パッチ コードを使用する必要はありません。「GBIC へのマルチモードおよびシングルモード光ファイバケーブルの取り付け」 (p.4-2) の手順に従ってください。

GBIC のネットワーク側は、デュプレックス SC タイプ レセプタクルです。モード調整パッチ コードは、GBIC 上のこの SC タイプ レセプタクルに接続します。

GBIC にモード調整パッチ コードを接続する手順は、次のとおりです。

**ステップ 1** モード調整パッチ コードを、GBIC 上の SC タイプ レセプタクルに接続します (図 4-2 を参照)。

図 4-2 GBIC へのモード調整パッチ コードの接続 — 水平方向



**注意**

伝送障害を防ぐため、パッチコードの一端の TX ポートと RX ポートを、それぞれもう一端の RX ポートと TX ポートに取り付けてください。つまり、TX は RX に、RX は TX に接続します。

**警告**

接続されていない光ファイバケーブルやコネクタからは目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光を直視したり、光学機器を使用して直接見たりしないでください。

**警告**

クラス 1 レーザー製品です。

**ステップ 2** モード調整パッチ コードのネットワーク側を、建物の配線設備の適切な 1000BASE-X 装置に取り付けます (図 4-2 を参照)。

これで、GBIC にモード調整パッチ コードを接続する手順は終了です。

## PA-GE における GBIC の交換

出荷時の PA-GE には、注文した PA-GE モデル（1000BASE-SX、1000BASE-LX、1000BASE-LH、または 1000BASE-ZX）に応じた GBIC があらかじめ搭載されています。



(注)

ここで説明する手順が必要なのは、PA-GE に GBIC が搭載されていない場合、または何らかの理由で GBIC の交換が必要になった場合です。それ以外の場合は、ここで説明する手順を行う必要はありません。



注意

システム障害を防ぐため、サードパーティ ベンダー製の GBIC は使用しないでください。必ず、PA-GE に付属している GBIC を使用してください。



(注)

GBIC がすでに正しく搭載されている場合は、「[GBIC へのマルチモードおよびシングルモード光ファイバケーブルの取り付け](#)」(p.4-2) に進んでください。それ以外の場合は、次の手順を続けてください。



注意

データ伝送に関連する問題を防ぐため、GBIC は必ず、IEEE 802.3x 対応デバイスに接続してください。



(注)

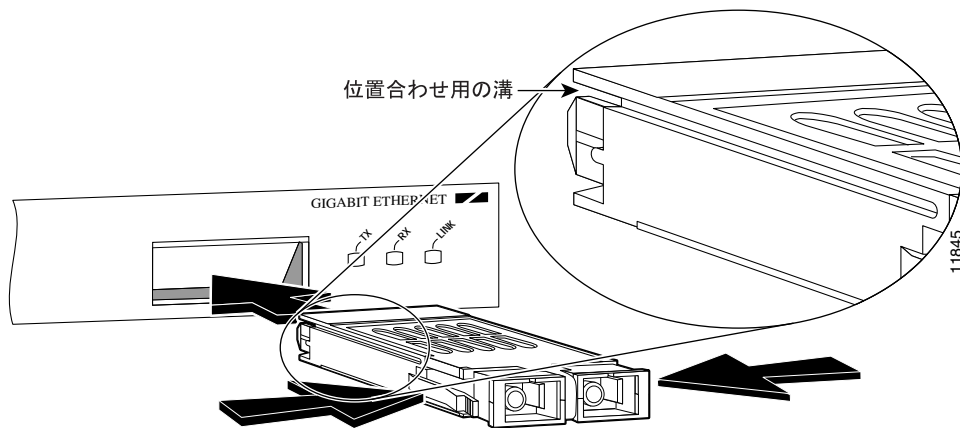
GBIC の取り外し / 取り付けはシステムの電源を切らずに行うことができますが、GBIC に光ファイバケーブルを接続した状態で、GBIC の取り外し / 取り付けを行うことは避けてください。GBIC の取り外し / 取り付けを行う前に、すべてのケーブルを取り外してください。

## PA-GE からの GBIC の取り外し

PA-GE から GBIC を取り外す手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** 静電気防止用リストストラップを着用し、塗装されていないシャーシ面に取り付けます。
- ステップ 2** GBIC から SC タイプ光ファイバケーブルまたはモード調整パッチコードを取り外します。再接続するときのために、TX 側と RX 側のプラグを識別できるようにしておいてください。
- ステップ 3** GBIC の露出部分の両側のタブを親指と人差し指で押さえ、GBIC スロットから GBIC をゆっくり引き出します (図 4-3 を参照)。

図 4-3 GBIC の取り付け / 取り外し



## PA-GE への GBIC の取り付け

PA-GE インターフェイスに GBIC を取り付ける手順は、次のとおりです。

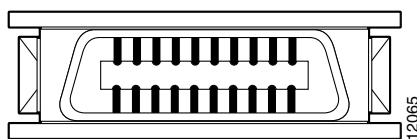
- ステップ 1** 静電気防止用リストストラップを着用し、塗装されていないシャーシ面に取り付けます。
- ステップ 2** GBIC 上の位置合わせ用の溝を確認します (図 4-3 の拡大図を参照)。GBIC 上の 20 ピン プラグを正しい向きで挿入できるように、GBIC の溝を拡大図と同じ方向に向けます。



### 注意

GBIC プラグおよびレセプタクルの破損を防ぐため、PA-GE の GBIC スロットに GBIC を挿入する前に、プラグの向きが図 4-4 と同じになっていることを確認してください。

図 4-4 GBIC の 20 ピン プラグ



20 ピン SCA-2 プラグ

- ステップ 3** 親指と人差し指で GBIC の両側のタブを押さえ、PA-GE の GBIC スロットに、GBIC を挿入します (図 4-3 を参照)。
- ステップ 4** 適度な力を入れて、GBIC のプラグを、GBIC スロットの 20 ピン レセプタクルと完全にかみ合わせます。GBIC を正しく完全に挿入すると、両側のタブによって GBIC が固定されます。
- ステップ 5** GBIC に、SC タイプ光ファイバケーブルまたはモード調整パッチ コードを再接続します (「PA-GE へのケーブル接続」 [p.4-2] の手順を参照してください)。

これで、PA-GE インターフェイスに GBIC を取り付ける手順は終了です。